

事例3

「集団暴力」が予測される中学1年生のグループに対する予防的な指導援助

～一人ひとりの特性をとらえ、より個別的なかわり方を通して～

(指導援助者は学級担任、35歳、男子、英語担当)

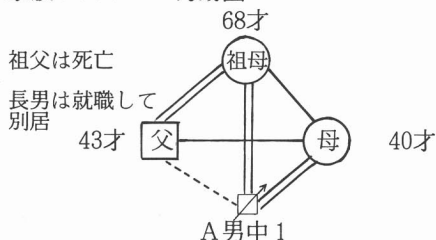
1 予測される問題行動 集団暴力

祖母は、A男を溺愛して育てた。

2 対象 中学校1年生男子(A男・B男・C男)

家族システム・力動図

3 問題行動予測の動機



- A男は4月から同じクラスのB男、C男とグループをつくり、休み時間に歩き回っている。
- 5月の連休が明けてまもなく、A男たち3人はトイレで、2年生のグループとにらみあった。
- 3人でクラスの中の弱者や、女子へのいやがらせをするところが見られた。

(2) B男について

4 資料

(1) A男について

- YG性格検査 B型 (4月実施)  
気分の変化が激しく、非協調性、攻撃性が高い。
- 反抗的態度が多いため教師もイライラし、相互不信的態度になる場合がある。
- 部活動はバスケットボール部に所属。成績は1学期中間テストで225人中181番。
- 小学校6年生の時の担任から「性格は明るいほうであるが、粗暴で逸脱的なところがある」との話だった。
- 家族関係 (4月一斉家庭訪問から)  
父親は、石材関係の仕事をしていたが、A男が6年生になってまもなく脚をけがして仕事を休んでいた。その後、回復したが「療養中」と称して仕事をせずに、昼間から酒を飲んで暴れたり、A男を殴ったりすることがあった。A男の父親への不信感は根強いものがある。

- YG性格検査 A型 (4月実施)  
一般的で安定しているが、劣等感がやや強い。
- 部活動はバレーボール部に所属。成績は、1学期中間テストで225人中165番。
- 性格は明るくひょうきんで、クラスの中ではみんなをよく笑わせ陽気にふるまう。調子がよく、授業中、騒いだりルールを守らないことが多い。
- 家族関係 (4月一斉家庭訪問から)  
父親は農業専業。無口である。母親は、会社勤め。祖母の手で溺愛され育てられた。

(3) C男について

- 家族関係 (4月一斉家庭訪問から)  
母親は、「療養中」の父親に代わり外に出て働き、一家の家計をきりもりしている。そんな母親を、A男は頼りながらも反発している。

- YG性格検査 C型 (4月実施)  
協調的で情緒も安定している。内向的で寂しがりやである。
- 部活動はバレーボール部に所属。成績は1学期中間テストで225人中190番。
- 家族関係 (4月一斉家庭訪問から)  
両親共働き。小学校4年生から鍵っ子で一人遊びが多い。母親の養育態度は過保護、過干渉的。そのため、C男は神経質でおとなしい。

(4) 学級の様子と3人

- ① 学級の雰囲気は、静かでおとなしい。  
4月のAAI学習適応性検査結果では、学習への適応は比較的高かった。